



 **AUCNET**

第16期 中間報告書

2023年1月1日~6月30日



**地球規模でモノを循環させて
社会を動かすエンジンに。
循環型社会の実現に向けて、
あらゆるパートナーとの共創を推進しています。**

代表取締役社長CEO

藤崎 慎一郎

オートモビル事業とコンシューマープロダクツ事業の 好調により増収増益

当第2四半期連結累計期間のオークネットグループの業績は、売上高21,931百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益4,006百万円(同0.9%増)となりました。デジタルプロダクツ事業の取扱高が縮小した一方で、オートモビル事業^{*}における中古車オークション市場の出品台数、成約台数の増加や車両検査サービスにおける検査台数の増加に加え、コンシューマープロダクツ事業におけるデジタルマーケティング等の施策の効果で取扱高が拡大したことなどにより、当期は前年同期比で増収増益となりました。

※2023年12月期より、従来の「四輪事業」を「オートモビル事業」に名称変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

オートモビル事業は落札代行サービスや 車両検査サービスの好調により増収増益

オートモビル事業においては、昨年の10月頃より、新車登録台数及び中古車オークション市場の出品並びに成約台数が復調しており、当第2四半期累計期間においても前年同期を大きく上回る結果となりました。ライブ中継オークションでは、中古車オークション市場の復調により落札台数が増加した結果、前年同期比で増収増益となりました。落札代行サービスでは、落札台数に加え会員数も増加し、当第2四半期累計期間において過去最高益を達成しました。車両検査サービスでは、特に大手専門店からの需要が引き続き高く、中古車情報誌認定検査の検査台数が好調に推移しました。総検査台数が増加したことにより、前年同期比で増収増益となり、セグメント利益に大きく貢献しました。この結果、セグメント実績は増収増益となりました。

デジタルプロダクツ事業はグローバル展開や 組織強化に向け積極的な投資を実施

デジタルプロダクツ事業は、新規バイヤー数が増加し、過去最多を記録した一方で、中古端末の流通台数は減少傾向が続く、取扱高は前年同期比で縮小しました。また、グローバル展開や組織強化のために積極的な投資を実施したことなどにより減収減益となりましたが、営業活動の充実を図り、継続的にバイイングパワーを増大させることや、多様な取引先によるソーシングの強化にも注力しました。

コンシューマープロダクツ事業は B2B・C向け事業ともに好調に推移

コンシューマープロダクツ事業は、B2B事業において、デジタルマーケティングやキャンペーン施策等により新規会員数が堅調に推移したことに加え、大手企業との提携により、単価の高い出品が増加したこともあり平均成約単価が上昇し、取扱高が拡大しました。消費者向け(C向け)事業においても、デジタルマーケティングにより良質な商品買取ができたことに加え、インバウンド需要により販売顧客数の増加及び販売単価が上昇しました。この結果、セグメント実績は増収増益となりました。

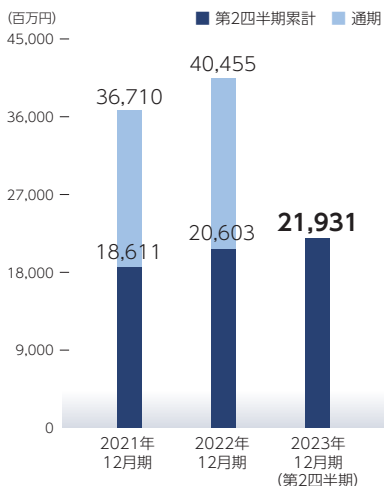
循環型社会の実現を目指し 「一次流通×二次流通」の領域に挑戦

当社がサステナビリティポリシーとして掲げる「価値あるモノを、地球規模で循環させる～Circulation Engine. (サーキュレーションエンジン)」には、「地球規模でモノが循環する社会を動かすエンジンになる」という、未来への強い意志が込められています。新しい挑戦のひとつに「一次流通×二次流通」の新領域での取り組みがあります。昨今のサステナビリティに対する潮流の変化などにより、メーカーや小売事業者など一次流通の領域において、消費者は「古くなった製品や不要になった製品を企業がどう扱うのか」ということにも目を向けています。企業側にも「開発して売って終わり」ではなく、顧客との接点を多様化したいというニーズがあります。実際に「一次流通×二次流通」の領域に足を踏み入れてみると、中古車流通事業をはじめ、長年培ったノウハウを活かせることや、様々な事業間でシナジーが生まれることを実感しました。

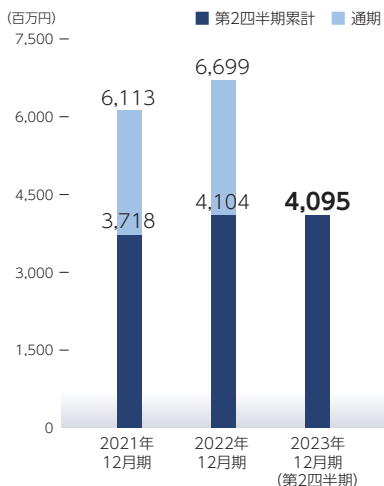
参照▶特集「オークネットの循環型流通を新しい領域へ」
「Circulation Engine.」としての機能を発揮するためには、より多くのお客様に当社のプラットフォームを活用していただきながら、ともに価値をつくり上げていくことが重要です。今後もあらゆるパートナーと事業を共創しながら、当社グループが理想とする循環型社会の実現に邁進してまいります。株主の皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

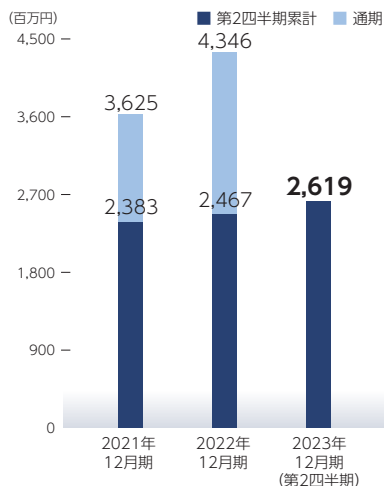
売上高



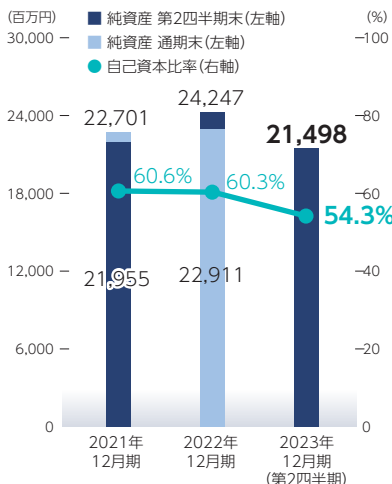
経常利益



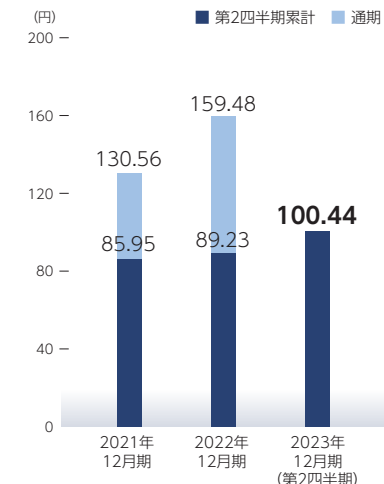
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



純資産／自己資本比率



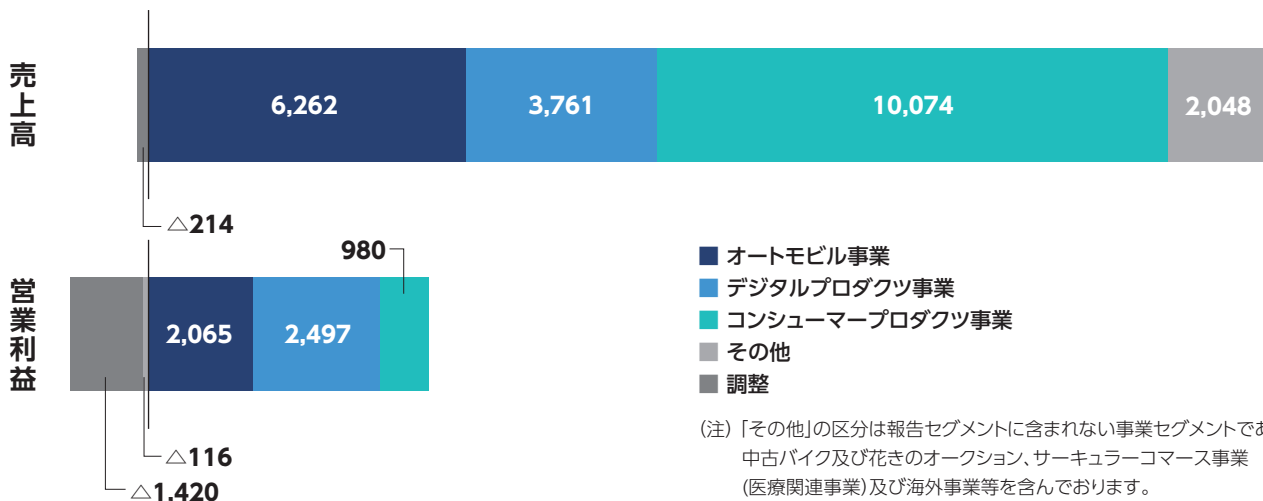
1株当たり四半期(当期)純利益



株主還元について

当社では、株主の皆様への利益還元を経営における最重要課題のひとつと位置づけています。将来の事業展開と経営体質の強化及び設備投資等に備えた内部留保を確保しつつ、連結配当性向30%を目標として、継続的な配当を行うことを基本方針としています。この方針に基づき、当中間の1株当たり配当は24円（年間48円の予定）とさせていただきます。

セグメントの状況 (百万円)



オークネットの循環型流通を新しい領域へ

一次流通領域への展開と消費者向け事業の拡大でさらなる価値創出を目指す

CASE. 1 メーカー、小売事業者向けの二次流通支援サービス

オークネットでは、従来、B2Bのオンラインオークションを主として事業展開し、多くの二次流通事業者をつなぐ役割を果たしてきました。当社が創業より培ってきた「リユース品の価値を正しく見極め、流通させる」ための知見と、国内外に60か国以上・37,000社を超える会員基盤を保有している会員制ネットワークに、メーカーや小売事業者など一次流通の領域からも関心が寄せられています。これを好機と捉えて、2021年8月より、二次流通領域のビジネス構築支援を行うサービス「Selloop(セループ)」を開始しました。

二次流通支援サービス「Selloop(セループ)」

サービス開始の背景と概要

SDGsの潮流のなかで、消費者は「企業は、古くなった製品や不要になった製品をどう扱うのか」ということにも関心を向けるようになってきました。また、メーカーや小売事業者など、これまでは開発と販売のみに集中してきた企業においては、顧客流出や購買機会減少などの課題に直面し、新たな顧客接点を模索するケースが出てきています。オークネットではこうした企業に向けて、新たな商品の循環をつくりだし、顧客との接点とつながりを深める二次流通支援サービス「Selloop」を提供しています。



公式サイト
<https://selloop.jp/>

循環型流通の共創事業紹介

「ベルメゾンネット」における不用品買取サービス「kimawari fashion(キマワリ ファッション)」

2022年11月より、株式会社千趣会との共創において、ノーブランド品も含む衣料品を中心とした宅配買取サービス「kimawari fashion」を実施しています。千趣会の通販事業「ベルメゾン」会員を対象に、“ライフステージや暮らしの変化で役目を終えたモノを気持ちと一緒にお預かりし、責任を持って、つぎの人・つぎの役割・つぎの世代へ、気持ちをつなぎ、まわす”をコンセプトとし、商品の使用価値の最大化を実現させるサービスです。



ベルメゾン会員様の声

長年、服をどのように手放すか悩んでいました。社会貢献にもなり、利用者の負担も少なく、とても良いサービスだと思います。

担当者の意気込み

お客様が大事にお使いになったモノと気持ちを、つぎの人や未来へつなげ、サステナブルに循環する心地よい暮らしをご提案していきます。

オークネットの未来へのチャレンジ!

一次流通と二次流通を組み合わせる「Selloop」の仕組みにより、自社と社会のサステナビリティ、お客様との関係性、収益性を同時に強化していきます。

CASE. 2 持続可能な社会を意識したECプラットフォーム

オークネットのコンシューマープロダクツ事業では、従来、全国の販売店・質屋・買取店等にブランド品(バッグ・時計・宝石・貴金属等)のオークション関連事業等を提供してきました。近年では、当社が持つ二次流通のノウハウや提携・M&Aの手法を活かし、消費者向け(C向け)事業の拡大にも注力しています。

ECプラットフォーム「VALTIQUE VINTAGE(ヴァルティーク・ヴィンテージ)」

ECプラットフォーム開始の背景と概要

2022年9月にハイブランドのヴィンテージアイテムを一般消費者向けに販売するECプラットフォーム「VALTIQUE VINTAGE」を開始しました。サステナビリティへの関心が高いZ世代やミレニアル世代を主要ターゲットとし、若い世代にもヴィンテージアイテムをより身近に感じていただくことを目的としています。「VALTIQUE」はVALUEとANTIQUUEの造語で、価値あるリユースアイテムを手頃な価格でご提供したいという想いと、個々の個性ある商品を大切にお使いいただきたいという「VINTAGE」の発想から、「VALTIQUE VINTAGE」と名付けました。



公式サイト

<https://valtique-vintage.com/>

VALTIQUE VINTAGEの商品タグに込めた想い

本ECサイトでは、主要ターゲットであるミレニアル世代やZ世代がヴィンテージアイテムを身近に感じて取り入れやすいように、5~10万円を中心とした価格帯で良質なリユース品を揃えました。取り扱う全ての商品には二酸化炭素排出量や水使用量の削減量を記載したタグを取り付けており、サステナブル意識の喚起も図っています。ハイブランド・ヴィンテージアイテムは、そのリセールバリューも含めると、大量生産、大量消費される商品と比較して大きな価値を持っているといえます。本ECサイトの利用が「おしゃれ」と「環境配慮」の両立につながることを発信していきます。



ECサイトご利用者様の声

予想以上に綺麗な状態で嬉しいです。サステナビリティへの貢献度が分かるのも良いと思います。



担当者の意気込み

「ヴィンテージ品を買うならVALTIQUE VINTAGE」と思ってもらえるよう、商品ラインナップの拡大やコンテンツ配信、さらにはヴィンテージ品を買う楽しさ等をお伝えできるよう尽力してまいります。

オークネットの 未来へのチャレンジ!

将来的には本ECサイトを、当社のB2B会員様にもご利用いただけるようなグローバルなB2Cモールへと発展、進化させていきます。

会社概要

(2023年6月30日現在)

会社名 株式会社オークネット
 英文社名 AUCNET INC.
 創業 1985年6月29日
 資本金 1,807百万円
 連結従業員数 866名
 上場区分 東京証券取引所プライム市場
 本社所在地 東京都港区北青山二丁目5番8号 青山OMスクエア
 代表電話 TEL:03-6440-2500 FAX:03-6772-0675

役員

(2023年6月30日現在)

取締役会長	藤崎 清孝
代表取締役社長CEO 社長執行役員	藤崎 慎一郎
取締役 専務執行役員	瀧川 正靖
取締役 専務執行役員CFO	谷口 博樹
取締役 常務執行役員CCO	佐藤 俊司
社外取締役	梅野 晴一郎
社外取締役	牧 俊夫
社外取締役	塚本 恵
取締役(監査等委員)	永島 久直
社外取締役(監査等委員)	上西 郁夫
社外取締役(監査等委員)	半田 未知(佐々野 未知)

株式情報

(2023年6月30日現在)

発行可能株式総数 110,000,000株
 発行済株式総数 26,463,200株
 株主数 5,071名
 大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数の割合
フレックスコーポレーション株式会社	10,698,800	45.1%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,710,980	7.2%
GOLDMAN SACHS & CO. REG	1,381,500	5.8%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 オリエンコーポレーション 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,296,000	5.5%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,056,637	4.5%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,051,300	4.4%
藤崎 慎一郎	795,000	3.3%
藤崎 真弘	794,600	3.3%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	579,500	2.4%
藤崎 清孝	513,200	2.2%

(注) 所有株式数の割合は、自己株式(2,731,016株)を控除して計算しています。

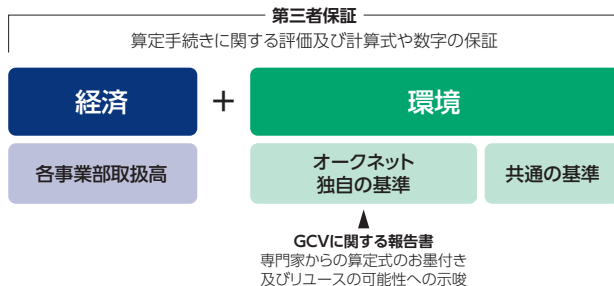
株主メモ

(2023年6月30日現在)

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎事業年度終了後3カ月以内
 剰余金の配当基準 期末配当 毎年12月31日
 中間配当 毎年 6月30日
 単元株式数 100株
 公告掲載方法 電子公告により行う。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。
 公告掲載URL <https://ir.aucnet.co.jp/ja/announcement.html>
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

循環型流通の価値を高める指標へ
GCVにおける第三者視点獲得の取り組み

当社は独自の経営指標としてGCV (Gross Circulation Value/総循環型流通価値) を設定しました。GCVとは、オークネットの事業活動が“経済”と“環境”に与えた影響を貨幣価値化したものを指し、2025年に1兆円にすることを目標に掲げています。現在、GCVの環境データの信頼性に関して様々な取り組みを行っています。第三者視点でGCVの保証及び、リユースの価値についてアピールしていくことで、循環型流通の価値を高め、社会に貢献したいと考えています。



●第三者保証: GCVの2021年度実績値において、独立機関である一般社団法人非財務情報保証協会による第三者保証を取得しました。ISAE3000及びISAE3410に準じた非財務情報保証基準に基づき限定的保証業務を実施いただきました。2022年度も引き続き取得を目指しています。

詳しくは <https://www.aucnet.co.jp/news/2023/20230428-1/>

●GCVに関する報告書: GCVの整合性やリユースの可能性等について、環境経済学的視点から、東京大学エコノミックコンサルティング(株) (UTEcon) に報告書を作成いただきました。GCVに関する報告書を活用し、環境負荷低減に対するリユースの価値を高めていきます。

詳しくは <https://www.aucnet.co.jp/news/2023/20230731-1/>

GCVについては、前回発行の第15期中間株主通信 特集ページをご覧ください。
<https://ir.aucnet.co.jp/ja/ir/library/report.html>



東京都港区北青山二丁目5番8号
 青山OMスクエア
<https://www.aucnet.co.jp>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。